

～誰もが安心して暮らせるまちを目指して～

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。上尾市でも平成28年には高齢化率が25%（65歳以上の高齢者が4人に1人の割合）を超え、一人暮らしの高齢者が増加傾向にあります。また、高齢者だけでなく、核家族化に伴って子育て世帯や障害のある人が孤立するなど、地域住民同士の関係が希薄化し、虐待などの問題も懸念されています。



市や社会福祉協議会では、このような多様化・複雑化している福祉ニーズに対して、分野横断的な対応が求められており、また、地域の実情に応じた体制整備や人材確保だけでなく、地域住民主体による地域課題の解決力強化・体制づくりも必要となっています。

そのような中、「誰もがつながりあって安心して暮らせるまち 上尾」を基本理念として、市民の皆さん誰もが孤立することなくつながりを持ち、安心していつまでも生活することができるよう、市と社会福祉協議会が地域課題を共有し、このたび合同で本計画を策定しました。

地域福祉を推進していくには、市や社会福祉協議会が連携して取り組むだけでなく、市民や団体、事業者の皆さんのご協力が必要不可欠となります。

そのため、市と社会福祉協議会はそれぞれの基盤を強化しながら、関連する組織などと今まで以上に連携して、情報提供・相談窓口の充実など福祉サービスの利用支援、見守り体制整備など誰もが快適に生活できる環境づくり、福祉の担い手の育成など誰もが役割を持てるような地域づくりに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

結びに、計画策定にあたり、地域福祉推進協議会、地域福祉活動計画推進委員会、並びに地域福祉推進協議会協働部会の皆さんをはじめ、地域福祉懇談会や市民コメントなど貴重なご意見をいただいた市民の皆さん、関係者の方々に心から感謝を申し上げます。

平成29年3月

上尾市長・上尾市社会福祉協議会会長 **島村 穰**